

脱炭素社会の実現　ゼロカーボンシティへ

低炭素化への取り組み

COCOLOWは従来の配合を用いた製品と比べ、
約40%のCO_2を低減できます。

環境都市への貢献 ゼロ・カーボンシティへ

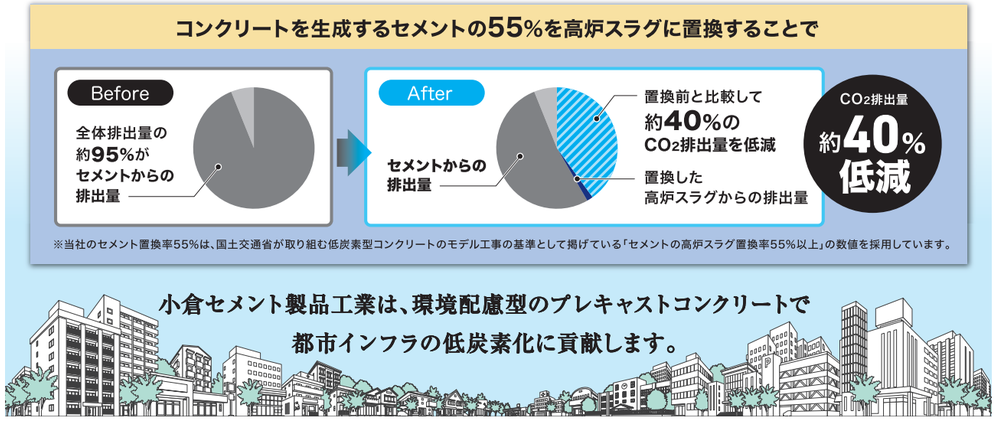
ゼロ・カーボンシティを掲げる北九州市の企業として
CO_2排出量実質ゼロを目指し、将来の世代を考慮した
豊かなまちづくりに貢献します。

循環型社会の構築

リサイクル建設資材を用いたコンクリート製品の製造により
SDGsに繋がる循環型社会環境整備を実現します。



CO_2排出量の比較



CO_2低減に貢献する混和材

小倉セメント製品工業の低炭素型コンクリート『COCOLOW（ココロウ）』は
産業副産物である高炉スラグや溶融スラグを利用した環境配慮型コンクリートです。
従来の製品に比べ約40%のCO_2を低減し、サスティナブルな環境づくりを後押しいたします。

TC0808009
TC0807188
TC0808010
※COCOLOWの配合でJISマーク表示認証製品も製造の認証を受けています。

高炉スラグ▶
鉄の街『北九州』ならではの
製鉄所から生まれる産業副産物。
CO_2の発生が低い粉末材料です。





北九州エコプレミアムは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

◀溶融スラグ
家庭ごみを燃やして固め砕いたもの。
細骨材（砂）の代替品として使用されます。



環境省は脱炭素社会に向けて、2050年までにCO_2を排出実比ゼロにすることを目指すと宣言しています。會澤高圧コンクリート社の呼びかけでコンクリート二次製品メーカー 55社が集結し、各工場からのCO_2をゼロ（カーボンニュートラル）にする技術提携をしました。
小倉セメント製品工業は2046年までにゼロを目指します。

脱炭素にドライブをかけろ！

コンクリート産業界の実践集団
aNET ZERO Initiative

私たちは持続可能なコンクリート産業を生み出すために全国の主要メーカー 55 社が結集した脱炭素政策集団。
最先端の脱炭素系コンクリートを大規模に社会実装し、サプライチェーン排出量のNET ZEROを
2050 年より前倒しで実現します。

3つの政策課題

1 自己治癒コンクリート「Basilisk」や
炭素除去コンクリート「CarbonCure」等の
全国的な普及を通じて
わが国のコンクリートGXをリードする

2 脱炭素系コンクリートを使った
CO_2削減記録をNFT化し、
ウォレットを介して顧客へとリレーする、
コンクリートGXの事業プラットフォームを確立する

3 蓄電コンクリートなど
先端的な炭素削減技術の共同開発や
普及に集団で取り組み、
2050年のIPCC目標を前倒しした
期限付きNET ZEROにコミットする

